



## ドイツ銀行東京支店、新生銀行本店ビルを裏付けとした 大型ノンリコースファイナンスを実施

【2008年3月24日、東京】— ドイツ銀行東京支店（支店長：相内泰和、所在地：東京都千代田区永田町）は、本年3月24日付で、モルガン・スタンレーが運営する不動産ファンドが設立した特定目的会社に対し、総額約900億円のノンリコースファイナンスを実施した旨を公表しました。

当該ファイナンスは、モルガン・スタンレーの不動産ファンドの1つが当該不動産の取得を目的として設立した特定目的会社に対して提供されたものです。

今回のノンリコースファイナンスは、当該不動産物件に関する不動産信託受益権を裏付け資産として、ファンドによる取得資金の調達のため実施されたものです。新生銀行本店ビルは、1993年に竣工した都心一等地に位置する地上20階建ての大型オフィスビルディングです。

ドイツ銀行グループは、商業用不動産ファイナンス分野で幅広い業務を展開しており、ノンリコースローンや商業用不動産担保ローンの証券化に注力しています。今後も、グループの強い財務基盤やグローバルな資源を積極的に活用することで、顧客ならびに資本市場のニーズに即したファイナンス案件を手掛けていく所存です。

以 上

ドイツ銀行グループは、グローバル市場で主導的な地位を占める投資銀行であり、個人顧客ビジネスにおいても収益を生む強固な事業基盤を確立しています。ドイツおよび欧州における圧倒的な強みを背景に、北米やアジア、主要新興国において、力強い成長を遂げています。ドイツ銀行グループの総従業員数は7万8,291人のほり、世界76カ国で幅広い金融サービスを提供しています。ドイツ銀行グループは、競争の激化するグローバルな市場を舞台に、常に前進を続けるお客さまのニーズに徹底的にお応えしていくことが、株主の皆さまに価値を創造し、私たち自身の成長につながると考えています。

日本においては1,350名の従業員を擁し、ドイツ証券株式会社（代表取締役社長：デイビッド・ハット）、ドイツ銀行東京支店（在日支店代表兼東京支店長：相内 泰和）、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長：関崎 司）、DB信託株式会社（代表取締役社長：北瀬 啓治）を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、資産運用などの広範なサービスを提供しています。